

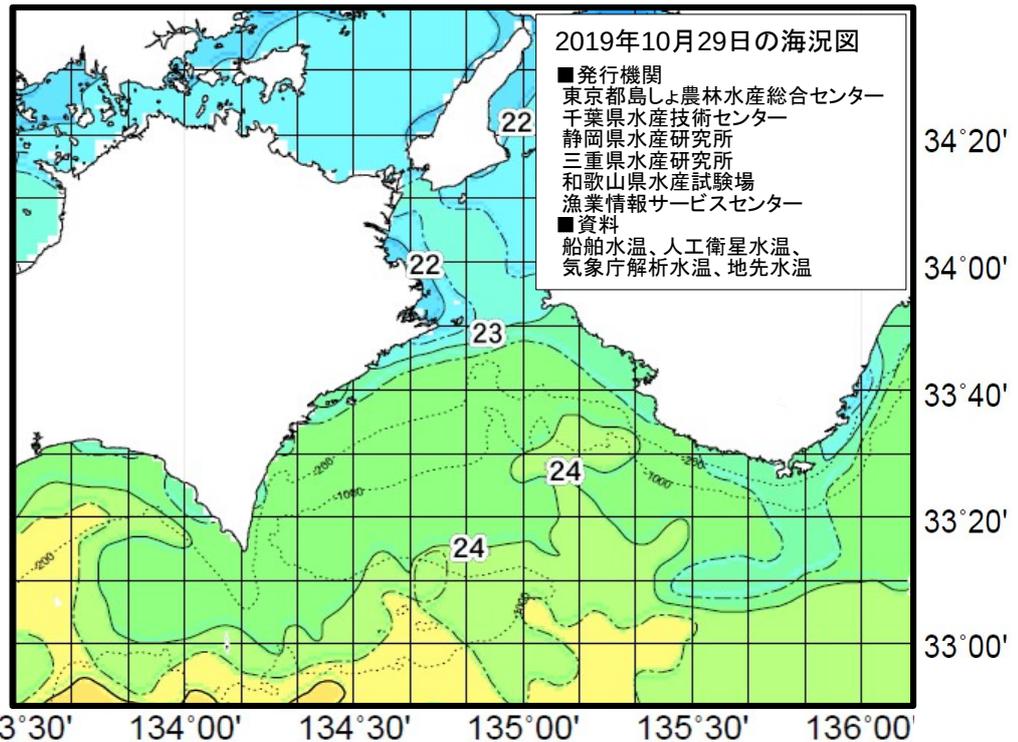
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移していたが、29日には潮岬沖でも「離岸」となっている。黒潮の表面温度は25℃～26℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘は22℃台、紀伊水道は21℃台～22℃台で吉野川河口から蒲生田岬にかけての沿岸部で低くなっており、海部沿岸は22℃～23℃台で牟岐周辺などがやや高くなっていると見られる。

海部沿岸には室戸岬沖からの暖水波及がある模様。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

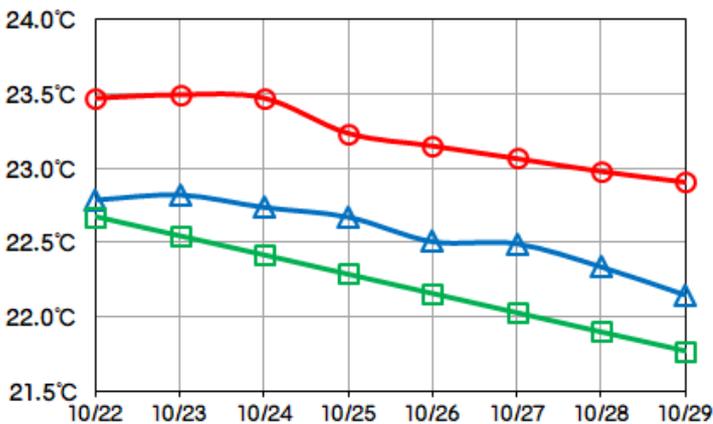
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

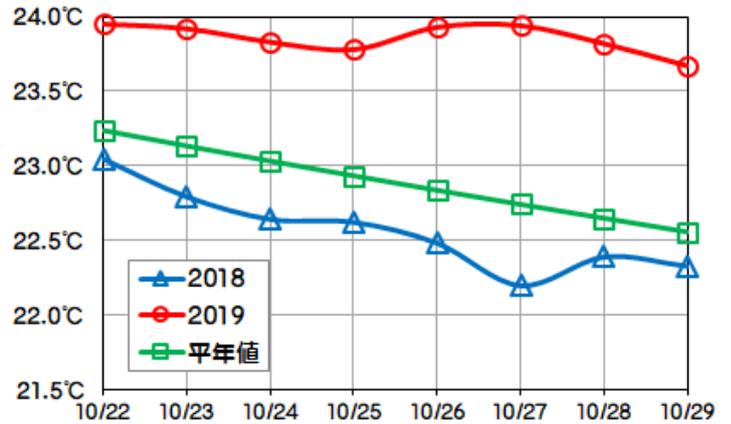
2. 地先水温(10月22日～10月29日)

鳴門地区の水温は23.5℃～22.9℃と「やや高め」が続いているが、24日以降低下傾向で推移している。日和佐地区の水温も「やや高め」で、24.0℃～23.7℃で推移している。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(10月30日～11月5日)

鳴門地区の水温は「やや高め」～「平年並み」、日和佐地区の水温は「やや高め」で推移する見込み。黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖では「離岸」～「著しく離岸」で推移する見込み。

イセエビ建網が操業中。荒天により海部沿岸の定置網の操業が低調。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが25ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて2kg級主体に3.6ト、タチウオが増えて特大主体に0.6トシマフグが減って0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に2.1ト、カンパチが増えて大主体に1.6ト、マアジが減って特大主体に1.3ト水揚げされた。

底びき網では、クマエビが大きく増えて0.9ト、ハモが大きく増えて0.4ト、コウイカが大きく増えて0.2ト、えそ類が増えて0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが大きく増えて中主体に2.2ト、キハダが1.1ト、ブリが大きく増えてはまち級主体に0.2ト、シイラが小主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが増えて大主体に0.2ト、シロサバフグが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マルソウダが大きく増えて1.2ト、マアジが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	25,000	333		→
	延縄	62	サワラ	3,609	58	2kg級主体	↗
		27	タチウオ	603	22	特大主体	↗
		28	シマフグ	236	8		↘
	建網	53	カワハギ	360	7	大主体	→
	小型定置網	20	ブリ	2,059	103	つばす級主体	↗
		23	カンパチ	1,553	68	大主体	↗
		22	マアジ	1,275	58	特大主体	↘
	底びき網	29	クマエビ	864	30		↗
		28	ハモ	407	15		↗
		28	コウイカ	163	6		↗
		16	えそ類	139	9		↗
海部沿岸	釣り	16	タチウオ	2,228	139	中主体	↗
		4	キハダ	1,139	285		→
		24	ブリ	194	8	はまち級主体	↗
		3	シイラ	166	55	小主体	→
	延縄	9	キダイ	220	24	大主体	↗
		2	シロサバフグ	131	65	大主体	↗
	小型定置網	4	マルソウダ	1,195	299		↗
		4	マアジ	149	37		↗

※ 前週比 200%以上:↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘